

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

9. 循環器系の疾患

文献

畑田 充俊、山本 修司、高垣 勇作ら. 下肢静脈瘤手術での五苓散による皮下出血の予防
西宮市医師会医学雑誌 2024; 29, 23-26.

1. 目的

五苓散投与により下肢静脈瘤手術での皮下出血、疼痛が減少するかを評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

病院 (心臓血管外科) 1 施設、日本

4. 参加者

当院で伏在静脈ストリッピング術を受けた患者 25 名及び下肢静脈瘤血管内焼灼術 (EVLA) を受けた患者 60 名

5. 介入

Arm 1: ツムラ五苓散エキス顆粒 1 回 2.5 g を 1 日 3 回術直前から術後 7 日間内服 ストリッピング術患者 15 名

Arm 2: 非投与 ストリッピング術患者 10 名

Arm 3: ツムラ五苓散エキス顆粒 1 回 2.5 g を 1 日 3 回術直前から術後 7 日間内服 EVLA 患者 39 名

Arm 4: 非投与 EVLA 患者 21 名

6. 主なアウトカム評価項目

術翌日、術後 7 日、術後 14 日に撮影した下肢写真から算出した皮下出血占有面積、術翌日、術後 3 日、術後 7 日、術後 14 日の数値的評価スケールによる術後疼痛スケール

7. 主な結果

全例を解析対象とした。全例で静脈閉塞を得た。Class 2 以上の血管内焼灼術による静脈血栓症、神経障害は認めなかった。術後疼痛スケールに群間差はみられなかった。ストリッピング術、EVLA 共に、術後 7 日と術後 14 日の皮下出血占有面積は、五苓散投与群の方が有意に小さかった ($P < 0.05$)。

8. 結論

五苓散は下肢静脈瘤手術での術後皮下出血を抑制する可能性がある。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

漢方薬の中でも五苓散が血腫や炎症を減少させるという報告があったことから、下肢静脈瘤手術後の皮下血腫や疼痛が五苓散で軽減しないかという検討がなされている。ストリッピング手術 25 例、下肢静脈瘤血管内焼灼術 60 例による検討がなされた。手術直前から投与を開始して 7 日間 7.5g/日の服用とした。トリッピング手術も下肢静脈瘤血管内焼灼術も、術後の皮下出血占有面積は、五苓散投与群で、非投与群と比較して、有意な減少を認めた。疼痛の評価は、Numeric Rating Scale で評価したが、投与群と非投与群で有意な差は得られなかった。

本研究は、利尿剤の代表方剤である五苓散が皮下血腫の軽減に有効であったという点で、非常に興味深い。しかし、作用機序は不明の点が多く、更なる研究を期待したい。

12. Abstractor and date

永田 豊 2025.09.01